

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年02月06日

計画の名称	多賀町における良好な水環境の形成												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	多賀町												
計画の目標	多賀町における下水道施設の健全度に関する点検・調査を実施し、事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図る。 また、集中豪雨等による浸水被害を軽減するため、効率的な雨水対策事業を実施する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	182	A	180	B	0	C	2	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.09	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	マンホールポンプ場における長寿命化対策実施率を100%にする。 マンホールポンプ場における長寿命化対策実施率 長寿命化対策実施済みのマンホールポンプ場(箇所)/長寿命化対策を実施すべきマンホールポンプ場(13箇所)	0%	55%	100%
2	下水道による都市浸水対策達成率を20%にする。 集中豪雨等による雨水排水整備 雨水対策実施済区域 / 雨水対策全体計画区域 479.2ha	18%	18%	20%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	多賀町	直接	多賀町	管渠(汚水)	改築	多賀町公共下水道長寿命化計画策定	マンホールポンプ場15箇所の点検・調査	多賀町						6		策定済
	長寿命化																		
	A07-002	下水道	一般	多賀町	直接	多賀町	管渠(汚水)	改築	多賀町公共下水道長寿命化対策実施	マンホールポンプ場13箇所改築更新工事	多賀町						130		策定済
	7-8 下水道長寿命化支援制度																		
	A07-003	下水道	一般	多賀町	直接	多賀町	-	-	効率的な施設計画の見直し	施設計画の見直し	多賀町						9		-
	7-8 下水道長寿命化支援制度																		
	A07-004	下水道	一般	多賀町	直接	多賀町	管渠(汚水)	新設	未普及対策事業	管径 200 L=500m	多賀町						30		-
	7-8 下水道長寿命化支援制度																		
	A07-005	下水道	一般	多賀町	直接	多賀町	管渠(雨水)	-	芹川左岸排水区等浸水対策	藤瀬地区4.1ha、中川原地区2.6ha等	多賀町						5		-
	7-8 下水道長寿命化支援制度																		
											小計						180		
											合計						180		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	多賀町	直接	多賀町	管渠（ 汚水）	新設	非常用電源整備	非常用発電設備の整備 N = 1台(25kv)	多賀町						2	-		
		災害に起因する停電時におけるマンホールポンプの機能保全を確保するために、非常用電源の整備を行い減災対策を進める。																		
											小計						2			
											合計						2			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	5	15	19	24	22
計画別流用増 減額 (b)	0	6	0	0	0
交付額 (c=a+b)	5	9	19	24	22
前年度からの繰越額 (d)	0	0	3	19	5
支払済額 (e)	5	6	3	38	18
翌年度繰越額 (f)	0	3	19	5	9
うち未契約繰越額 (g)	0	3	0	5	9
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	33.33	0	11.62	33.33
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		当初計画していなかったマンホールポンプで故障が相次いで発生し、長寿命化計画の見直しに不測の日数を要したため。		地元協議に不測の日数を要したため	地元協議に不測の日数を要したため

計画の名称	多賀町における良好な水環境の形成		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)	交付対象	多賀町



要素事業番号	要素となる事業名	凡例	
A07-001	多賀町公共下水道長寿命化計画策定	●	マンホールポンプ場
A07-002	多賀町公共下水道下水道長寿命化対策実施		
A07-003	効率的な施設計画の実施	-	-
A07-004	未普及対策事業	○	未普及対策
A07-005	芹川左岸排水区等浸水対策	○	雨水対策
C07-001	非常用電源整備	-	-

事前評価チェックシート

計画の名称： 多賀町における良好な水環境の形成

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針（污水处理施設整備構想、流総計画等）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画（事業認可等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地元地域の情勢の変化を踏まえている。	○
I. 目標の妥当性 社会経済情勢を捉え、適正な計画となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標および事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が住民にとってわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 費用対効果について十分効果がある。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 供用開始区域の接続率の向上が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 地元住民の同意や要望がある。	○
III. 計画の実現可能性 事業実施のための環境整備が図られている。	○